

品質カイゼン室のそこが知りたい！

# サボテン・多肉植物編



今、巷で噂の多肉植物。「タニラー」という言葉まであるほどの人気者です。

今回は“多肉植物”の仲間であるサボテンと共に、その仲間たちについて探っていきましょう！！

## ●多肉植物って…どんな植物??

多肉植物とは植物体(茎・葉)が水分の多い柔組織、つまり貯水組織の発達した植物のこと。

一般的には多肉質になった茎・葉が光合成機能を持つものを指します。

## ●原産地

多肉植物の多くは、アフリカ南部を中心としてアフリカ大陸全体、アメリカ南西部から中米・南米の西部にわたって分布しています。

特にサボテンの場合、観葉植物と同様に扱われることもあり

熱帯植物と間違われることもありますが、分布が熱帯圏にあったとしても、

**一般的には熱帯性植物よりも寒さには強いのです！！**



## サボテン類

サボテンはコノハサボテン・ウチワサボテン・ハシラサボテンの3つの亜科に分類されています。



コノハサボテンの仲間

(月下美人※上:花 下:葉)

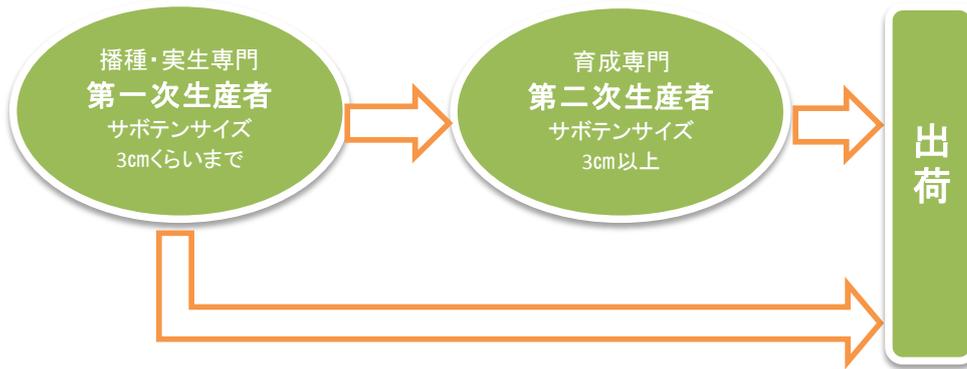


ウチワサボテン



ハシラサボテン

## ●栽培の流れと栽培方法



※近年は播種から育成まで一貫生産を行う生産者もいらっしゃいます

## ●栽培歴

作型	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
早生タイプ			出荷		播種				移植			移植
晩生タイプ		移植			播種		移植			出荷		
			第二次生産者へ									

### 採種から播種

3～5月に開花するので採種。水洗いし風乾、播種期まで保管。播種直後は底面給水させる。その後は噴霧器で1日おきに灌水。播種適期は4～6月。それ以外は発芽率が低い。時期によって2～4週間で発芽。

### 移植

苗が5mm玉程度で1回目の移植。1～1.5cm玉程度で2回目の移植。さらに成長させて3cm玉で出荷となるが、2回目の移植後に第二次生産者へ委託しその後1～2回の移植を行って出荷されることが多い。



サボテンの栽培用土は主に川砂がベース。サボテンはアルカリ土壌を好むので、**用土のPHは7前後**に調整するのが良いそうです。

また今回ご紹介した播種を専門とする一次生産者の部分では、主に人工授粉を行い採種していますが、輸入種子を購入することもあるそうです。



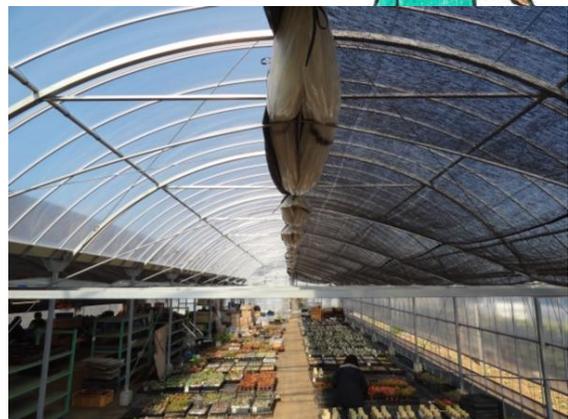
## ●栽培時管理方法

4～10月は寒冷紗や遮光ネットをかけて日焼け防止。早く取りすぎると傷んでしまうので注意が必要。

冬季の加温は特に必要としないが、移植を行う場合は保温すること。

灌水は7～9月は1日2回、その他の時期は1回。

厳寒期は生育を見ながら少な目に。



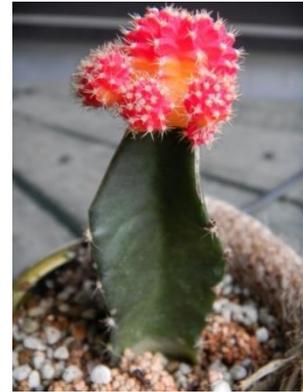
### ●挿し木・接ぎ木繁殖も…

サボテン類は簡単に挿し木が出来ます。好みの大きさの挿し穂を取り、根付くと同時に出荷出来ます。

また、成長の遅い品種を早く育てるため、あるいは自根で育てにくい品種の維持・繁殖のために接ぎ木で繁殖する方法があります。

例えばよく見かけるこの右図のサボテン(緋牡丹)

上の赤い部分と下の緑色の部分は別の個体です。葉緑素が欠乏している赤い部分を補うために接ぎ木が利用されています！！



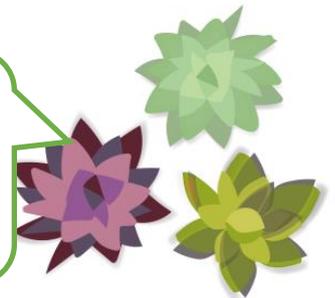
## その他の多肉たち

多肉植物の多くは夜間に二酸化炭素を取り込み固定する CAM 植物。日中の蒸散による水分の損失を防ぐために気孔を閉じ、逆に夜間に気孔を開いて二酸化炭素を取り込みます。

サボテン及び多肉類は普段は乾燥した条件にありながら、一時的には豊富な水分が得られる環境に多く自生します。よって一時的な不良環境に耐えるために順応した植物たちなので、

**決して乾燥している環境を好むということではありません。**

**きちんとお世話してあげないと枯れてしまいます><**



水やりの前と後でこんなに違います!!



2 か月断水したものの、しわが寄ってお疲れ気味ですが…

→



お水でぶっくり復活しました！！

### ●管理の仕方と楽しみ方

#### POINT1 日光浴を忘れずに



葉の上から水やりをしてしまうと水粒がレンズの役割をして葉がやけてしまうので注意！！

ずっと屋内に置いておくと日光に弱い軟弱な株になってしまいます。軟弱になると直射日光に当たったとき葉焼けの原因になるので冬場も日中はなるべく日に当てましょう。

日光が不足すると…

なんだか…間延びしている？！  
かわいくなっちゃった！！(´;ω;`)  
そんなときは…**切り戻し**してみましょう。  
切り離す側と残される側両方に葉が残るようにカット。  
切り口を2日程乾かしたら、土に挿すだけ！！  
風通しの良い窓際レースカーテンごしの日向などに置  
いておきましょう。



**POINT2 植え替えのタイミングは茎から出る根、「気根」が出たり、下端が落ちたりしたら。**



※奥が肥料切れを起こしている状態のもの

**土の量は少ない方が可愛くなる！！**  
通常の植物だと根が早く回ってしまって  
「根詰まり」になり肥料切れし、枯死してしま  
ったりしますが、ベンケイソウ科の多肉たちは  
肥料切れを起こすとギュっとなって  
コロコロとした形状になり病害にも強い状態に  
なります。

私たちの生活の中で、グリーンとしても、インテリアとしても流行中の多肉植物たち。  
お手入れはとっても簡単ですが、生産地では大きくなるまでに多くの時間と  
細やかな手間がかけられています。  
皆さんもちょっとした空間で、多肉植物を楽しんでみませんか！？  
多肉たちとの素敵な暮らしになるはずです。ぜひお試しください。

参考文献

農業技術大系第12巻

多肉植物画像・HP 引用 カクト・ロコ様



大田花き 品質カイゼン室